

えびの

市議会 だより

第130号
第131号
令和4年1月20日

Ebino City Assembly Report 2022/1/20 Vol.130・131



3月定例会は
2月25日(金)
開会予定

令和四年元旦初日の出 撮影地：矢岳高原

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、晴れやかな新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より市議会への深いご理解と議会活動に対しまして格別のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、定数が14名となった市議会議員の改選で、新体制のもと議長に選任され、職責の重大さをひしひしと感じているところでございますが、これまでの経験を基に、市民に開かれた議会、親しまれる議会を目指し、議会運営に努めて参る所存でありますと共に、新春を迎えて、えびの市のさらなる発展のために、引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしております。

また昨年は、コロナ禍で様々な行事、人の動き等が制限される中ではありましたが、東京オリンピックピックをはじめ、日本のスポーツ選手が活躍した1年でもありました。えびの市においては2020年産霧島地区ヒノヒカリが米の食味コンクールで特Aを獲得し、また、硫黄山噴火の影響で水質悪化により一部で稲作ができない水田もありました

大会連続獲得!!

第9回 全国大会 優勝3回
神田



が、全面的な稲作再開ができるなど、今後に向けて希望の持てる明るい出来事もありました。

このような社会情勢の中で、特にえびの市においては、農業、商工業、林業などの発展、観光の振興、更には福祉対策、子育て支援にまつわる少子化対策、あわせて新型コロナウイルス感染症対策など、避けて通れない課題があります。これらの課題に立ち向かうべく議会が果たすべき役割は大きく権能を発揮する重要性がますます強くなっております。このため市議会といたしましても一致団結し、今後の市政を取り巻く環境の変化を的確に捉え、えびの市の長期的・持続的な発展を支え、将来を担う子ども達をはじめとする市民の皆様の幸せのため、市民の皆さまの期待に応えるべく、誠心誠意尽くしてまいる所存であります。

新春に臨み、市民の皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が市民の皆様にとりまして幸せて実り多く、また大いなる飛躍の年となりますことをご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

えびの市議会

議長 竹中 雪宏



令和3年

10月定例会議案概要

令和3年10月定例会は、10月14日から11月4日までの22日間開催し、報告3件、議案16件、認定7件を審議しました。
(審議結果の詳細はP.19をご覧ください)

◇ 指定管理者指定の議案 ◇

- 議案第41号
公の施設の指定管理者の指定について

ポイント ☞ えびの高原キャンプ村の施設管理を効果的かつ効率的な管理を行うために、指定管理者を指定するものです。

(※詳しくはP.7産業厚生常任委員会報告を参照ください)



◇ 計画策定の議案 ◇

- 議案第42号
えびの市過疎地域持続的発展計画の策定について

ポイント ☞ 新たに過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が施行されたため、令和3年度から令和7年度までの5ヶ年期間のえびの市過疎地域持続的発展計画を策定するものです。
(※詳しくはP.8予算等審査特別委員会報告を参照ください)

◇ 予算・決算関係の議案 ◇

- 議案第50号
令和3年度一般会計予算の補正(第10号)について

歳入歳出それぞれ8億2,130万8千円追加し、補正後の予算総額は、156億1,957万9千円となります。
(※詳しくはP.8予算等審査特別委員会報告を参照ください)

- 認定第1号
令和2年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について

令和2年度えびの市一般会計当初予算額は、139億2,500万円でした。

これに補正予算額41億3,186万1千円と、繰越明許費繰越額2億7,556万7,044円追加し、予算総額は183億3,242万8,044円となりました。
(※詳しくはP.9～10決算審査特別委員会報告を参照ください)

- 認定第6号
令和2年度えびの市水道事業会計決算の認定について

安全でおいしい水を安定的に供給するため、水道施設の更新等対策事業や、大迫・妙見簡易水道の上水道への統合整備事業などの推進に努めました。



◇ 決算関係の議案 ◇

○ 認定第7号

令和2年度えびの市病院事業会計決算の認定について

地域医療を担う基幹病院としての機能を発揮し、市民の健康保持に必要な医療を提供するため、地域包括ケア病床の運用や計画に基づく医療機器の更新、医師確保や救急医療体制の維持に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、院内感染症対策や協力医療機関としての診療環境整備を行いました。

(※詳しくはP.6総務教育常任委員会報告を参照ください)



討 論



○ 議案第41号 公の施設の指定管理者の指定について

反対

指定管理者の選定が公正に行われた確認がなされていない。えびの高原キャンプ村の年間を通じての保安管理体制が十分に整理されていない。

賛成

令和3年6月定例会で指定管理者選定に関して、公募ではなく協議等にて進めていく旨の説明を受けている。民間投資で活性化の一助を担って官民共同での取り組みが進むことで観光活性化に繋がる可能性も大いに感じられる。

○ 議案第42号 えびの市過疎地域持続的発展計画の策定について

反対

えびの市過疎地域持続的発展計画には、基幹産業は農業であると記載されているが、実際は第3次産業であるため、記載されている内容が事実と異なる。また基幹産業が農業である限りえびの市の今後の発展は望めない。

賛成

これまで過疎地域自立促進計画に基づき様々な政策を行ってきており、今後も市民が安全安心に暮らせる生活の基盤の確立、地域社会の活性化、また多様な住民の生活環境を整備し、持続的な地域社会を構築していく必要がある。

総務教育 常任委員会 報告

10月定例会において、当委員会に付託されました議案6件・認定2件の審査を行いました。
 審査の結果、討論はなく全会一致で原案の通り決まりました。
 以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

議案第55号 令和3年度えびの市水道事業会計予算の補正（第1号）について

簡易水道統合整備事業費
200万円
 （減圧弁設置工事費の増額）

Q 工事対象となる大迫・妙見地区の利用者数及び統合による収益見込みは。

A 現在、地区の給水人口は79戸。加えて会社や牛舎等、新たな加入があると若干見込

んでいるので、給水見込み総数は90戸としている。収益に関しては、令和3年度は加入金として総額440万円。給水開始は令和4年4月1日になるので水道料金収益は来年度以降になる。平均使用料から推測して、年間水道料金収益は334万1千円を想定している。

浄水施設費 490万円

Q 柿木原浄水場電気設備更新設計業務委託料の詳細は。

A 昭和50年から4～5年かけてえびの市第3次拡張事業として柿木原浄水場は出来ており、その当時から利用している受電装置等の電気設備の更新計画を考えている。

議案第56号 令和3年度えびの市病院事業会計予算の補正（第1号）について

病院事業収益補助金
440万1,000円

Q 県の新型コロナウイルスワクチン接種緊急支援事業に係る補助金の詳細は。

A 新型コロナウイルスのワクチン接種体制確保の協力金として、1日50回以上接種した場合／1日当たり10万円、休日に接種をした場合／1日当たり15万円を支給されるもので、ワクチン接種が行われた時に病院に対して交付される。

認定第7号 令和2年度えびの市病院事業会計決算の認定について

Q 以前、地域包括ケア等導入することによって経営改善が見込まれるとの説明を受けているが、決算の収支でどのように反映されたか。

A 地域包括ケアの導入による収益に関して、令和元年度より地域包括ケア病床を8床導入しており、導入初年度の令和元年度は2,000万円から3,000万円の収益効果があった。しかし、収益効果はあったが、患者数が改革プラン上の想定を超え

る勢いで減少していて、包括ケア病床では収益がプラスになったものの下げ幅もあり、結果その下げ幅を少し抑える程度の収益効果にとどまっている。令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあり、医業収益、入院収益、外来収益合わせて約7,600万円のマイナスとなっており、その中でも地域包括ケア病床は約7割に近い稼働率で、包括ケア病床の収益もあった。しかし、トータルでは新型コロナウイルスの影響でマイナスとなった。

総務教育常任委員会
委員長 遠目塚 文美

産業厚生 常任委員会 報告

10月定例会において、当委員会に付託された議案8件、認定4件について審査を行いました。審査の結果、議案8件、認定4件はいずれも討論はなく、全会一致で原案の通り決まりました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

議案第41号 公の施設の指定管理者の指定について

えびの高原キャンプ村の指定管理者について、「国民宿舎えびの高原荘」の指定管理者である「株式会社レジャークリエイティブホールディングス」を指定管理者として指定するものです。

Q 指定管理者の指定手続等に関する条例第5条の規定の内容の説明を求めます。

A 第5条、市長は次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、第2条の規定による公

募によらず、指定管理者の候補者を選定することができる。

Q 指定管理者の候補者選定は第2条の条項が判断基準になっているのか。

A 第5条に従いグランピングで料理の提供など、様々なサービスをすることができものが国民宿舎えびの高原荘の指定管理者ということも判断し、公募によらずに、えびの高原荘の指定管理者を対象とした。

Q 第5条の中の公募に対し申請する団体が無いという項目も判断基準に当てはまるのか。

A 3年前にも募集を行ったが応募がなかった。今回要望があったことから指定管理者として検討した。

Q 開業期間として春、夏、秋の期間と冬場の12月20日から1月10日、この期間が開業期間である。指定管理される場合、これ以外の期間の管理はどうなっているか。

A 11月1日から3月31日まで、指定管理期間外なので市として人件費は全くみていない。この期間は自主事業として管理運営してもらい得られた収益については全て指定管理者の収益になる。

Q 指定管理料のシーズンオフの収入はどのようになっているのか。

A 利用料金については、条例で定めた金額を指定管理者の収入としていく。人件費を含め必要な経費を差し引いた金額を指定管理料として支払い、基準額を上回った収益部分に対し3分の1を市に納めていただく。

議案第48号 えびの市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

家庭的保育事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令等の施行に伴い、用語の整理及び電磁的方法による対応が追加されたことから、えびの市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正をするものです。

Q 家庭的保育事業は現在えびの市にはないのか。

A 家庭的保育事業を実施している事業所は、現在えびの市にはない。

の一部改正について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども子育て支援等の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令等の施行に伴い、用語の整理及び電磁的記録に関する規定が追加されたことから、えびの市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正するものです。

Q 条例の一部改正によって、教育保育施設、及び地域型保育事業者と担当課が改善されているものがあるのか。

A 保護者及び事業者等の運営等々の利便性が向上する。

議案第53号 令和3年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第2号)について

Q 高額医療合算介護サービス事業で、年間延べ365件予定したところ、見込みを上回る給付費が予測されることから増額するものがあるが、何件ぐらい予測されたのか。

A 481件の見込みである。

産業厚生常任委員会

委員長 吉留 優二

予算等審査 特別委員会 報告

10月定例会において、当委員会に付託された議案2件について審査を行いました。審査の結果、議案第42号は討論はなく、全会一致で原案の通り決まりました。議案第50号は反対の討論があり、挙手による採決の結果、賛成多数で原案の通り決まりました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

議案第42号 えびの市過疎地域持続的発展計画の策定について

【産業の振興】

Q 新規就農者あるいは農業後継者不足について、市独自の支援策をどのように考えているのか。

A 担い手の確保が大きな課題であり、人材が欲しい事業者とえびので仕事をしたい方を

をマッチングさせる人材サポートバンク事業も展開し、農地の集積・集約化を進めている。

Q 農家を指導する人材を広く公募する計画はないか。

A 以前はJ Aの退職者を、営農指導員としていたが、今後公募の範囲を含めて検討する。

【交通施設の整備、交通手段の確保】

Q 生活路線バス補助事業の具体的内容と市からの補助金はいくらか。

A 小林駅から京町待合所までの路線バスを維持するために、宮崎交通の収入から、経常経費と国・県の補助金を引いた赤字部分について小林市と按分して補助するものである。令和2年度の補助金は582万4千円である。

【集落の整備】

Q 限界集落が広がっており、自治会活動も停止せざるを得ない地域も出始めている。この対策について伺う。

A 自治会加入が進まないのが、近年、災害も頻発しているので、粘り強く自治会加入を進めていく。

【再生エネルギーの利用の促進】

Q 太陽光等開発について、えびの市でも条例のようなものを作成し、地域住民の合意形成だけでなく、乱開発を許可しない仕組みが必要と思うが、条例等の必要性はどのように考えているのか。

A えびの市地域新エネルギーギービジョンにより、景観の保全や自然との調和に配慮し、地域住民等の合意形成を図っていく。仕組みについては、財産権という問題もあり、制限が出来るか慎重に考えていく。

議案第50号 令和3年度えびの市一般会計予算の補正（第10号）について

予算等審査特別委員会
委員長 中山 義彦

【農林水産業費】 硫黄山対策費

水質計保守点検委託料

260万円

Q 当初予算での計上ではなく、何故、補正予算計上となったのか。損傷した機器はなにか。全て壊れたのか。

A 令和3年7月豪雨による機器損傷と判断し計上した。手元の水質計と比べて誤差が見られたので4設置点の水質計の機器更新、補修を行った。計測は続けており、水質に異常は認められなかった。

【反対討論】

えびの高原キャンプ村管理業務については、指定管理者のありようや選定手順、指定管理の内容について納得できない点があり、予算書に債務負担行為補正が計上されていることから議案第50号に反対する。

決算審査 特別委員会 報告

10月定例会において、当委員会に付託された認定1件について審査を行いました。審査の結果、討論はなく、全会一致で原案の通り決まりました。以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

認定第1号 令和2年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について

【商工費】

観光Wi-Fi整備事業委託料

463万4,300円

Q

どこにWi-Fiを設置したのか。

A

えびの高原足湯の駅とケビン周辺の感度が悪かったキャンプ村に設置した。

観光Wi-Fi保守委託料

209万6,688円

Q

保守委託とはどのような業務か。

A

市内8カ所のWi-Fi設置場所において、年間を通して不都合があった時に、その都度対応している。

アウトドアシティ推進事業費

2,137万1,509円

Q

コーディネート委託とプロモーション委託の委託先と内容は。

A

コーディネート委託は、サイクリングルートマップの作成で、株式会社ネイチャーエンタープライズに委託し、プロモーション委託は、えびのサイクリングプロモーションの業務で、株式会社小学館メディアプロモーションに委託した。

キャンプ村管理費（臨時）設計委託料

244万9,000円

Q

何を設計したのか。

A

キャンプ村にある浴場施設の建て替えに伴う設計業務である。

【総務費】

広報みやざき配布事業費

24万1,056円

Q

具体的にどれだけの戸数に配布されているか。

A

配布戸数は6,850戸である。

Q

弁護士委託料とはどのようなものか。

A

弁護士委託料とは、2件の事件に関して委託したものである。1件が損害賠償請求、もう1件が別の損害賠償請求事件に係る控訴事件であり、2事件とも判決が確定し、終了している。なお、現在市が関わっている訴訟はない。

Q

弁護士委託料とは、2件の事件に関して委託したものである。1件が損害賠償請求、もう1件が別の損害賠償請求事件に係る控訴事件であり、2事件とも判決が確定し、終了している。なお、現在市が関わっている訴訟はない。

A

弁護士委託料とは、2件の事件に関して委託したものである。1件が損害賠償請求、もう1件が別の損害賠償請求事件に係る控訴事件であり、2事件とも判決が確定し、終了している。なお、現在市が関わっている訴訟はない。

入札・契約管理費

①公共工事入札・契約監視委員会報償金 13万5,000円

Q

監視委員は、市役所の規定か規約に基づいているのか。

A

えびの市公共工事入札契約監視委員会設置要綱に基づいており、監視の内容については、委員は大学教授、弁護士、公認会計士、税理士、社会保険労務士の5名で構成されている。工事の内容や入札の結果は、それぞれの発注課に質問して適正かを判断する。

②電子入札システム共同利用負担金

268万561円

Q

システムを利用する1件あたりに対して負担金が決まっているのか。それとも工事代金に対して決まっているのか。

A

初年度はシステムの導入があり、えびの市より先に入っている4自治体と応分に負担している。さらにシステムの改修費用が含まれている。なお、システム利用料に関しては、令和2年度は電子入札を実施していないので負担はない。

総合計画策定業務委託料

755万400円

Q

総合計画策定業務委託料の契約の内容について伺う。

A

第6次総合計画の策定準備を進めており、関連的な基礎調査、人口ビジョンの推計を全面的に改訂する準備、現総合計画の分析評価・検証、全庁的な振り返りの検証・ヒヤリング、市民・市職員・企業や団体の意識調査等を踏まえた基本構想案の骨子の策定を行う。

【消防費】

消火栓設置負担金

417万9,563円

Q

令和2年度の消火栓設置4基はどこに設置されたものか。

A

中島自治会1基、加久藤麓自治会2基、西川北自治会1基の計4基である。

【衛生費】

新型コロナウイルス感染症対策費

630万7,054円

現在、どこまでワクチン接種が進んでいるか。

えびの市の総人口に対する接種率が約80%になり、接種対象者に対する接種率は、1回目が86%程である。

執行率が13・2%と低い主要因は何か。

当初、国より2月から接種を開始する通知があったが、実際には4月にずれ込み、不用額の発生や繰り越したことにより、13・2%の執行率になった。

【民生費】

人権同和对策事業費

68万1,039円

人権セミナー3回を協議会に委託したと理解してよいか。

啓発事業を委託しており、昨年度は人権セミナーを3回行った。

福祉タクシー料金給付費

479万6,630円

利用率について、約60%の方々が利用され、約40%の方が利用されていない。運用の仕方についての考えはないか。

山間部の方々は、今の枚数では足りない方もおられると考える。新年度で、該当者一律に枚数を増やす考えで検討していく。

こどもの貧困対策推進事業費

523万8,517円

貧困状態にある方の人数は、

現在子ども宅食として食材等の支援が必要な家庭の数は、16世帯と把握している。

【公債費】

7億4,210万3,355円

公債費発行総額はいくらか。

令和2年度末の残高は90億7,493万9,769円である。

【農林水産業費】

野菜等価格安定対策事業補助金

866万9,928円

野菜の価格が低かった時に発動される補償制度で、国や県、生産者、市町村、JA等がお金を出し合って価格の補填をする。野菜の種類は宮崎県では、20種類ぐらいあるが、えびの市で該当するのは、キャベツ、白ネギ、夏秋ピーマンの

3種類である。

6次産業化支援事業補助金

30万円

事業の達成率は。

補助金は、当初予算120万円のうちの1件分、30万円の執行額で、25%の達成率となっている。

緊急対策事業補助金

1,082万5,142円

アフリカ豚コレラ等侵入防止

緊急対策事業補助金

1,082万5,142円

予算執行率32・5%と執行率が低くなっている理由は。

41農場のフェンスの総延長を2万mとして積算をしていたが、事業を執行するにあたり、30農場しか申し込みがなく、入札残が生じたことから執行率が減少している。

ため池等ハザードマップ作成委託料

352万円

ハザードマップの自治会等への配布予定はないのか。

紙媒体で自治会へ配布することを検討していく。

有害鳥獣駆除対策協議会補助金

703万9,000円

補助金は、協議会という団体に対して出しているとの理解

【労働費】

シルバー人材センター運営事業補助金

1,308万9,000円

補助金の内容は。

運営事業補助金の使途については、収支計算書の経常費用事業費の給料手当、臨時雇賃金、法定福利費、退職給付費用、福利厚生費、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費、光熱水費、賃借料、諸謝金に対し、市補助金1,308万9,000円と、同額の国の補助金が充てられている。

決算審査特別委員会

委員長 中山 義彦

一 般 質 問

新しい財源を作れ!!



中山 義彦
議員



質問 今定例会で発表できる産業団地の誘致企業はあるか。

市長 事前協議は頂いているが、最終的な調印については具体化していない。

質問 何年で売り切るつもりか。

市長 選挙公約で最優先課題としている。4年間で誘致をまとめたい。

質問 借入れの償還期間10年と売却単価に変更はないか。

企業立地課長 借入れ翌年から起算して10年後の一括償還である。

質問 新しい事業に投資して、先の財源収入を確保する必要があると考えるが市長の見解は。

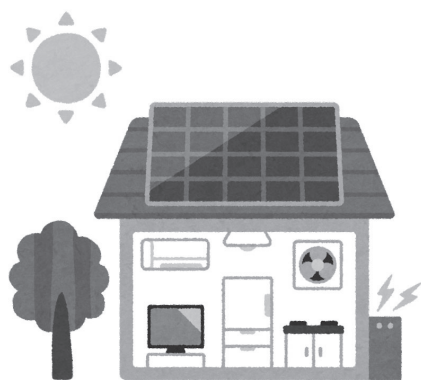
市長 新しい財源の確保としてエネルギーの提言もあったが、リスクもあり、行政が売電等を含め

た財源の確保は考えていない。

質問 京町温泉は道路が古く、側溝から悪臭がする。観光客の視点に立って整備してもらいたい。

市長 水路等を含めて快適な利用環境を整えなければいけないと考えている。

質問 美化センター更新検討は。
市長 現在、精査しており、具体的検討でゴミ減量化を考える。



well-beingなまちづくり



遠目塚 文美
議員



質問 成長期である中学生の部活動の補食を提案するが。

教育長 学校では水分補給以外の補食を行っていない。休日前や試合では、保護者の協力で行っている学校はある。今後、学校での補食の効果や課題等を調査する。

質問 飯野高校への地域留学では、日常生活を過ごす寮等の環境も重要視されている。市の支援は。

企画課長 入学希望者の増加に伴い、下宿先不足が予想されるため、学校や関係機関等と連携を図りながら対応を進めている。

質問 带状疱疹ワクチン接種の助成について、進捗状況は。

健康保険課長 西諸会議で情報共有している。带状疱疹について市報での周知を検討している。

質問 ドクターヘリ用のヘリポート整備を検討しないか。

健康保険課長 現在計画はないが、今後、新規整備等の要望があれば西諸広域消防本部と協議する。

質問 小林市立病院の分娩休診に伴う、妊産婦の負担軽減支援は。

こども課長 緊急搬送等、スムーズに対応出来るように、妊婦登録制システムを西諸広域消防本部と連携し、構築中である。



飯野高校生主催の住民との駅トーク

真幸地区防災について



川野 亮
議員



が管理しているため、豪雨災害時は速やかに県と連携し、市道についてもより速やかに対応していく。

質問 真幸地区の避難所について、豪雨災害時の移動困難者や高齢者の事も考え、岡元小学校体育館のみではなく、近くに避難所が必要ではないか。

基地・防災対策課長 今現在、真幸地区の豪雨災害時の避難所は、国土交通省が指定する浸水想定区域外の岡元小学校体育館のみである。自治会等からも要望を頂いている。民間施設や自治公民館等を有効活用できないか、総合的に早急に検討している。

質問 豪雨時の道路冠水した際に、国道268号線の真幸郵便局前から亀沢地区、またそこに至る市道の早期の道路封鎖ができないか。

建設課長 国県道に関しては県



令和3年7月豪雨時の京町地区の様子

市長、東部インフラ整備を!!



吉留 優二
議員



質問 飯野駅周辺の水路や樹木、雑草等の整備が悪い。早急に対策が必要だが市長の見解を伺う。

市長 担当課に調査をさせた。整備対象をしつかり調査する。

質問 市道飯野停車場韓国線から市道飯野停車場上江線の整備だが、前回の市長の答弁では都市計画道路として計画されているとの答弁だった。進捗状況を伺う。

建設課長 原田上江線も含め全体的な計画で整備を行っていく。

質問 八幡岡添線の道路、水路等の整備が必要だが見解を伺う。

建設課長 すぐ確認し近隣の話等を伺った。今後対策を考えていく。

質問 国道268号線の歩道の整備が必要であるが対策を伺う。

建設課長 五日市工区は県に要

望を出している。現在麓工区を整備し、その後坂元工区、大明工区、五日市工区を順次整備していく。渡邊石油からスミちゃんラーメンまでは着手している。その後、南面180mを整備していく。

質問 生活道路、市道上江線の全面的改修工事が必要と考えるが、**建設課長** 部分的な改修では危険なため地域住民と協議を行い都市計画道路の変更を行っていく。



飯野駅周辺整備を市長に訴える

一般質問

地元生産者と意見交換会を



栗下 政雄
議員



畜産農政課長 尾八重野地区団地指導育成については、当地区の園芸農家と地元で、農産園芸係との意見交換会を行っていく。

質問 えびの市の高冷地、野菜団地名、戸数、品種、面積等を示せ。

市長 えびの市内の高冷地を利用して、野菜を生産している所は尾八重野地区がある。当地区で野菜を作付けされている農家戸数は10戸で、作物の種類としては、春夏作がキャベツ24・4ha、ピーマン8・4ha、里芋7・2ha、生姜4・4ha、ネギ3・9ha、ゴボウ2・9haなどで、秋冬作としては、キャベツ25ha、ホウレン草6・9ha、ネギ3・9ha、ニンジン2・4ha、ピーマン2・7haとなっている。

質問 今後、尾八重野地区野菜団地をどのように指導していくのか。



「健康家族」との契約栽培

運転寿命の延伸に取組みを



阿部 哲己
議員



い将来に農業が崩壊する恐れがある。一方、高齢者の運転技能は改善できると、国立長寿医療研究センターが公表している。運転のトレーニングを受けることで、高齢者が安全に運転できる期間を延ばせそうなので、運転寿命を延伸する施策の検討をお願いする。

市長 市民の皆さんが社会的な活動を続けられるよう、運転寿命を延ばす施策を調査したい。

質問 事業計画の策定を外注されているが、市役所職員が策定すべきだ。職員の人は日頃の業務を通じ、えびの市をより良い町にするための方策を考えているはず。その思いを事業計画に織り込み、実施し、改善項目を次の計画に反映させるサイクルを回すことで、職員の能力向上も期待できる。

市長 事業計画等は、出来るだけ外部委託せず市役所内で議論し策定の方角とする。外部委託の場合でも、市民の声や市の考え方は的確に織り込むよう努めたい。

質問 市の計画では、高齢者の交通安全対策として免許証返納を推進するとある。農業従事者の65歳以上が72%を占めている現状で、運転免許返納を進めれば、近



急げ 京町地区の浸水対策!!



田口 正英
議員



質問 豪雨のたびに浸水被害に悩まされている京町地区の排水問題についてどのように対策を取るのか伺う。

市長 7月10日の豪雨により京町から柳水流域地区が浸水被害が発生し、3日後に川内川流域による合同要望会において、国土交通省事務次官、水管理国土保全局長に対し被害の報告と内水対策について要望を行った。

建設課長 現在も要望活動は行っているが、今後も川内川流域での課長級の協議はしていく。

質問 いこい荘の前の道路改良と併せて排水路の改良工事も要望がある。対策はあるのか。

建設課長 市道京町28号線の側溝の老朽化と舗装のひび割れを確

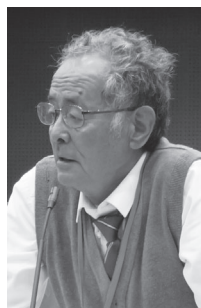


認し、今後維持工事とし舗装と側溝の改修工事をしていく。

質問 えびの高原における中和処理施設の今後の計画はどのようになっているか。

建設課長 現在、えびの高原からくまがらに荘跡地に計画している水質改善施設の整備計画については10月末日に設計業務が終了し、今後早期に工事の発注をかけると県の環境管理課から伺っている。

インボイス〔適格証明書〕制度は中止を



西原 政文
議員



質問 インボイス制度はシルバーセンターなど個人事業主や自営業者、農家への消費税納税の影響があり免税業者は工賃が下げられ取引が困難となると考える。中止すべきだ。

税務課長 制度選択はあるが1,000万円以下の免税自営業者は取引が見直される可能性がある。消費税の課税事業者以外にも全ての自営業者など影響すると考える。

市長 目的が納税義務の範囲を広げることであり取引での影響が出ると思われる。正しい判断ができるよう情報提供する。

質問 西郷霊園から島内の小田堂川にある水門までの水路拡幅計画は、どこまで進めているか。

農林整備課長 設計は完成し地

元説明を行った。令和4年度に用地買収を行い5年度から進める。

質問 西川北地区の菅原神社近くの市道整備の要望は進んだか。

建設課長 西川北徳満2号線は過疎計画に盛り込み今後実施する。

質問 高齢者の数と生活困窮者の見守り対策はどうなっているか。

福祉課長 75歳以上の高齢単身者851人おられ、民生委員や支援センター等と共に支援する。



整備が望まれる西川北徳満2号線

一般質問

えびの市の基幹産業は何か？



森 賢治
議員



質問 私は市民の皆さんから402票を頂き、議員になった。彼らの思いを市政に反映させ、えびの市を元気にしたいと考えている。そこで、まず、市長に伺う。えびの市の主産業は何か。

市長 基幹産業は農業だ。

質問 えびの市過疎地域持続的発展計画書等多くに基幹産業は農業だとある。根拠は何か。

市長 えびの市版GDPの中で農業が13%を占め、人口に対する農業就業者数が宮崎県下の自治体平均より多いという特徴がある。

質問 えびの市版GDPによれば、第3次産業が6割以上を占め、割合が一番高い職種は公務だ。公務とは何か。

市長 公務員等のことだ。



市長と政策議論する森議員

質問 えびの市の基幹産業は第3次産業の公務だと判明した。今後5年間の基幹産業は何か。

市長 農業だ。

質問 農業が基幹産業であれば、市民の暮らしは豊かにならない。農業が基幹産業だったのは、昭和初期迄である。我が国の基幹産業は製造業であり、高度な経済成長を達成した。えびの市もこれに倣い、産業構造の転換をすべきだ。

市民目線での環境整備を



小宮 寧子
議員



質問 投票率向上に向けて、出張所でも期日前投票ができるよう以前提案したが、その後どのような検討をされたのか。

選挙管理委員会事務局長 期日前投票については、人員確保に苦慮している。出張所での期日前投票は継続して検討するが、バス車両を利用した移動式の期日前投票所を導入している自治体の事例なども研究して、より投票しやすい環境作りを積極的に検討していく。

質問 夜間のえびの上江駅周辺では、道幅が狭く街灯が少ないため離合が大変困難で、駅を利用する生徒の保護者から駅周辺の整備を求める声があるが、市の考えは。

企画課長 交通安全、防犯など

様々な課題があり現地調査等、検

討すべき事項として捉えている。JR九州鹿児島支社や上江まちづくり協議会、地元自治会と関係課共に検討を考えている。

質問 生ごみの減量化を目的に家庭用ごみ処理機の購入費の一部を補助する自治体もあるが、本市の考えは。

市長 ごみ処理に係る費用が少なくなれば経費は無駄ではないが、購入の補助に関しては研究する。



整備が求められるえびの上江駅

運転免許証自主返納に寄り添う対策を!!



松窪 ミツエ
議員



質問 高齢者の事故の抑制のため、運転に不安を持つ人に対する運転免許証自主返納の促進が広報10月号に周知されている。65歳以上の高齢者ドライバーには重圧もかかる。また、運転免許証返納後の生活環境の変化に、不安の声が寄せられてくる。安心した暮らしができるように対応を求める。

市長 運転寿命を延ばしていくような取り組みも今後は必要と考える。健康状態を保ち、長く安全に運転していただきたいというような思いの部分も、どこかで記載する配慮にも取り組んでいきたい。
質問 ICT導入で使用する教材の著作権の対応はされているか。
学校教育課長 授業目的公衆送信補償金制度を利用する。12月の



補正予算で対応する。
質問 市有地南部採草地をメガソーラー設置のため貸付したが、土石流、湧水、保水力、雨水の流れ等自然災害への影響はないものか。

財産管理課長 土砂災害の点から比較的平らな土地を選定して雑木の伐採は必要最低限度にとどめている。安全対策として百年確率の雨量想定の調整池を設置する。
市長 注意深く管理していく。

議会傍聴しませんか

えびの市議会では年4回「定例会」を開催します。定例会は約1ヶ月かけて行われ、多くの議案を慎重に審議します。予算の執行状況や現状、今後の方針などについて説明や報告を受けます。このほか市政についての一般質問を行います。

えびの市議会では、公正性及び透明性を確保するために市民に開かれた議会を目指しております。

手続きは本会議当日に、本庁3階の議会事務局で自分の住所・氏名を傍聴申請書に記載するだけで、どなたでも傍聴できます。

ただし、ルールやエチケットは、お守り下さい。

新型コロナウイルス感染症対策のため、検温・手指の消毒・マスク着用にご協力をお願いいたします。



新議会構成決まる

令和3年10月臨時会において、9月12日投開票の市議会議員選挙後の新たな議会構成が決まりました。

新議長のもとに、全ての委員会メンバーや議会選出委員等も新しくなりました。

※他の委員会に属しない事項

産業厚生常任委員会

- ▼委員長 吉留優二
- ▼副委員長 小宮寧子
- ▼委員 川野 亮・松坂昭二
松窪ミツエ・西原義文
中山義彦

※所管する課

市民環境課、健康保険課、介護保険課、観光商工課、畜産農政課、建設課、農林整備課、企業立地課、こども課、福祉課、農業委員会に関する事項

議会広報特別委員会

- ▼委員長 森 賢治
- ▼副委員長 小宮寧子
- ▼委員 川野 亮・松坂昭二
遠目塚文美・西原義文
西原政文

議会報告公聴特別委員会

- ▼委員長 田口正英
- ▼副委員長 阿部哲己
- ▼委員 吉留優二・中山義彦
松窪ミツエ・栗下政雄

西諸広域事務組合議会議員

- ▼議員 森 賢治・遠目塚文美
西原義文

えびの市戦没者追悼奉賛会

- ▼委員 竹中雪宏・中山義彦

えびの市青少年育成市民会議

- ▼委員 川野 亮・阿部哲己

都市計画審議会委員

- ▼委員 竹中雪宏・栗下政雄
松窪ミツエ

えびの市畑地かんがい事業推進協議会

- ▼委員 竹中雪宏・松坂昭二

人権同和問題啓発推進協議会

- ▼委員 竹中雪宏・中山義彦
遠目塚文美・吉留優二

他に、JR吉都線利用促進協議会、にしろ定住自立圏構想首長議長会、環霧島会議、霧島ジオパーク推進連絡協議会、宮崎県鉄道整備促進期成同盟会、高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会、川内川上流河川改修期成同盟会、飯野高等学校を守り育てる市民の会、国道447号整備促進期成会、えびの市郷土芸能保存連合会等は議長のおて職となっています。

総務教育常任委員会

- ▼委員長 遠目塚文美
- ▼副委員長 田口正英
- ▼委員 森 賢治・阿部哲己
西原政文・栗下政雄
竹中雪宏

※所管する課

総務課、企画課、財政課、基地・防災対策課、市民協働課、財産管理課、税務課、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、水道課、市立病院、教育委員会に関する事項

議会選出監査委員

- ▼委員 松窪ミツエ

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 4 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年11月4日

宮崎県えびの市議会

令和3年10月臨時会 議案等審議結果表

1. 議案等

付託委員	番号	件名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	松坂	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原(義)	西原(政)	栗下
	報告第12号	専決処分した令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第5号)の承認について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	報告第13号	専決処分した令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第6号)の承認について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	報告第14号	専決処分した令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第7号)の承認について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	報告第15号	専決処分した令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第8号)の承認について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	報告第16号	専決処分した令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第9号)の承認について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第40号	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2. 議員・委員会提出議案

付託委員	番号	件名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	松坂	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原(義)	西原(政)	栗下
	委員会提出 議案第1号	議会広報特別委員会の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	委員会提出 議案第2号	議会報告公聴特別委員会の設置について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和3年10月定例会 議案等審議結果表

1. 議案等

付託委員	番号	件名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	松坂	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原(義)	西原(政)	栗下
	報告第17号	令和2年度えびの市健全化判断比率について	—	※ 賛否はなし													
	報告第18号	令和2年度えびの市資金不足比率について	—														
	報告第19号	令和2年度えびの市産業団地整備事業特別会計継続費精算報告書について	—														
産業厚生	議案第41号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算等審査特別委員会	議案第42号	えびの市過疎地域持続的発展計画の策定について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第43号	えびの市個人情報保護条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第44号	えびの市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第45号	えびの市一般職の職員の給与に関する条例及びえびの市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第46号	えびの市固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第47号	えびの市使用料及び手数料条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第48号	えびの市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第49号	えびの市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算等審査特別委員会	議案第50号	令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第10号)について	原案可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第51号	令和3年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第52号	令和3年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第53号	令和3年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第54号	令和3年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算の補正(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第55号	令和3年度えびの市水道事業会計予算の補正(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第56号	令和3年度えびの市病院事業会計予算の補正(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算審査特別委員会	認定第1号	令和2年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	認定第2号	令和2年度えびの市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	認定第3号	令和2年度えびの市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	認定第4号	令和2年度えびの市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	認定第5号	令和2年度えびの市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	認定第6号	令和2年度えびの市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	認定第7号	令和2年度えびの市病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2. 議員・委員会提出議案

付託委員	番号	件名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	松坂	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原(義)	西原(政)	栗下
	委員会提出 意見書案第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実を求める意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

／:議長は採決に加わらない ○:賛成 ●:反対 一:棄権 欠:欠席



12月定例会概要



令和3年12月定例会は、11月30日から12月13日までの14日間開催し、議案18件、陳情2件を審議しました。
(審議結果の詳細はP.30をご覧ください)

◇議案第62号◇

えびの市国際交流センター条例の一部改正について

飯野高等学校の県外からの生徒入学が見込まれることから、えびの市国際交流センター2階部分を生徒寮として利活用するために条例の一部を改正する議案が可決されました。

これにより、現在宿泊可能な国際交流センター2階部分は、**令和4年4月1日**から飯野高校の生徒寮となりますのでご注意ください。



飯野高等学校



えびの市国際交流センター

反対の討論がありました。討論内容→飯野高校には既に奨学金等で年間約2千万円補助している。この議案及び関連議案（議案第59号及び議案第69号）の可決により、更に年間1千万円の追加補助が見込まれる。市の財政状況を考えると時期尚早であり、今後道路改修費等が必要な点から議案に反対する。

◇陳情第1号◇

市道坂元線と国道221号との交差点における暗渠排水路の改修及び交差点周辺地盤の調査に関する陳情書

採択されました。

(※詳しくはP.22産業厚生常任委員会報告を参照ください)

◇陳情第2号◇

京町自治会内の市道の道路改良及び側溝整備に関する陳情書

継続審査となりました。

総務教育 常任委員会 報告

12月定例会において、当委員会に付託された議案8件の審査を行いました。

審査の結果、議案第59号は討論があり、採決の結果、賛成多数で原案の通り決まりました。

その他、議案7件は全会一致で原案の通り決まりました。

以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

議案第59号 公の施設の指定管理者の指定について

【指定管理候補者の選定に係る経緯について】

令和3年度当初から、国際交流センターの活用について宮崎県立飯野高等学校全国生徒寮について協議を進めてきた。8月11日の庁議で、えびの市国際交流センターの第8期・指定管理者募集について令和5年度から飯野高校全

国粋生徒寮として活用するため指定管理期間は令和4年度の1年間とし、国際交流センターの設置目的を効果的かつ効率的に達成することができ、過去の指定管理の実績を評価し、公募は行わないことと決定した。

【公募を行わなかった理由】

第8期指定管理者募集にあたり、1年間だけでは次期の指定管理者が安定的な管理運営ができない可能性があること。その点、現在の指定管理者は国際交流センターの指定管理の実績があり、また、これまでの豊富な国際交流活動等の実績から国際交流センターの設置目的を達成できると判断し、今回公募を行わなかった。そのような経緯等から、公募は行わないとし、募集要項及び仕様書を配布し、応募申請受け付け期間中に飯野高校のオープンスクール等を通じた全国粋志願者の概数が大幅に増え、全国粋受入生徒数が増加する見通しであることが判明。現在の民間の下宿等では不足することが予想されたため、全国粋生徒の受け入れに支障が生じないよう再度協議を行った結果、生徒寮としての活

用を1年前倒して令和4年度からとし、指定管理期間を今期と同じ3年間にするなど必要な見直しを行った。

特定非営利活動法人えびの市国際交流協会からは、応募申請受け付け期間内に指定申請書一式が提出され、令和3年10月7日、5名の委員による指定管理候補者選定委員会を開催した。

Q えびの市国際交流センター管理業務委託料2,242万9千円の算定について、寮として活用予定の2階部分との兼ね合いについては。

A 令和4年度からは宿泊部分の管理はなくなるが、野外広場やステージを含む施設全体の管理や国際交流事業を担っていただく。算定は、過去の3年間の平均を積み上げている。2階の共用部分について、廊下や食事部屋、休憩室・懇談室は指定管理者にお願いして、個別の寮の部分については、指定管理者ではなく、新たに設立される団体に管理をお願いすることで整理している。

議案第68号 えびの市立病院使用料及び手数料徴収条例の一部改正について

Q 改正前は納入義務者とされてきたが、文言の変更で義務者の範囲の変更等はないか。

A 社会全体のデジタル化を推進するため、地方公共団体の歳入等についてスマホアプリ等を利用した決済方法に柔軟に活用することができ環境整備を図ることを目的としている。柔軟な納入に対しての整理なので、義務というよりも納入しやすくなる制度への移行であると認識している。

【反対討論内容】

議案第59号 公の施設の指定管理者の指定について

多々不備な点、また、説明不足、細部に至る執行部の調査が行われていないような気がする。来年の4月から飯野高校を支援するというその期限を、笠や盾にして事業計画をしっかりと精査せずに議案をあげてきたのが明々白々であるような気がする。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美

産業厚生 常任委員会 報告

12月定例会において、当委員会に付託されました議案6件・陳情2件の審査を行いました。

審査の結果、討論はなく全会一致で、議案6件・陳情第1号は原案の通り決まりました。

陳情第2号は継続審査と決まりました。

以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

議案第60号 公の施設の指定管理者の指定について

白鳥温泉指定管理者について、一般法人こころざし・ふるさと再生委員会を指定管理者として指定するものです。

Q 審査項目について審査員が項目に対してどのような評価をしたのか。

A 審査委員5名の項目に対して点数は、住民の平等な利

用の確保等の適正な管理について、100点満点で75点/施設の効用の最大限の発揮及びサービスの向上について、200点満点で150点/経費の節減について、50点満点で39点/管理を安定して行う人的財政的基礎及び能力について、250点満点で100点/その他の必要な事項について、25点満点で18点/合計で382点になっている。

Q 施設に向いて指定管理者と情報交換は行っているのか。

A 報告書は毎月提出いただいている。必要があれば、施設に向いて協議を行い、2ヶ月に1回は定例協議を行っている。

議案第61号 公の施設の指定管理者の指定について

矢岳高原ベルトンオートキャンプ場の指定管理者について、株式会社アイロード・プラスを指定管理者とするものです。

Q 直営の検討はなかったか。

A 3年間指定管理を行い、雑誌等の広告PRやサービスの向上に努めていて、直営での委託事業の判断には至らなかった。

Q 審査項目について審査員が項目に対してどのような評価をしたのか。

A 240点以上を審査基準とし、審査委員4名の項目に対して点数は、住民の平等な利用の確保等の適正な管理について、80点満点で60点/施設の効用の最大限の発揮及びサービスの向上について、160点満点で126点/経費の節減について、40点満点

で28点/管理を安定して行う人的財政的基礎及び能力について、100点満点で81点/その他の必要な事項について、20点満点で15点/合計で310点になっている。

Q 利用時間が午後2時から翌日10時までとなっているが、翌日10時を翌日11時にできないのか。

A 今後3年間の運営の中で状況を踏まえ、必要があれば再度検討する。

議案第70号 令和3年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第4号)について

Q 直営診療施設勘定繰出金1,457千円の医療機器に係る医療機器は何を購入するのか。

A 市立病院が購入した医療機器は、自動血球計数装置と送信機である。

陳情第1号 市道坂元線と国道221号線との交差点における暗渠排水路の改修及び交差点周辺及び交差点周辺地盤の調査に関する陳情書

担当課説明

国道に接しているので小林土木事務所の立会いのもと、現場確認を行った。

11月8日に市と県および、議会に要望書が出され11月10日に小林土木事務所と協議し、底板については市道側であり市で底板のコンクリートを打設する計画とした。側面については、底板のコンクリート打設後、空積みの石積み工なので裏面からコンクリートを打設する形で補強する計画である。

産業厚生常任委員会
委員長 吉留 優二

予算審査 特別委員会 報告

12月定例会において、当委員会に付託されました議案1件について審査を行いました。

審査の結果、反対の討論があり、挙手による採決の結果、賛成多数で原案の通り決まりました。
以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

議案第69号 令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第11号)について

【総務費】

移住・定住推進事業費

428万7千円

Q えびの市国際交流センター1・2階の飯野高校生生徒

寮の入寮タイムスケジュールは、

A 入寮の予定は4月1日以降と考えている。

Q 監視カメラはどこの部署で管理をするのか。

A 証拠能力を記録する監視カメラであるが、安心安全のため、何か起きた時にすぐ駆けつける体制等を今後検討し、企画課で管理する。

Q 市外からの移住相談と飯野高校のオープンスクールで利用者が増加しているが、内

訳は。

A 現在、16件の申請があるが、この内7件が飯野高校の関連で利用されている。

Q 飯野高校の学生向けに寮として貸し出すことは、

移住・定住事業の一環ということか。

A 飯野高校の活性化も含めた総合的な町の活性化ということも目的の中に含まれている。

Q 国際交流センターにバス停を設ける路線の検討をして頂きたい。

A 新たなバス停の協議は完了しており、今年の4月1日には、国際交流センターに寄

る便が新しく出来る。

地域おこし協力隊事業費

10万3千円

Q 地域おこし協力隊員で、えびのに定住をした件数は。

A 令和3年11月末現在で、任期済みの方の24名の内8名の方が市内に定住している。

地域づくり推進事業費

250万円

Q 宝くじのコミュニティ助成金での購入品は、内容

が限定したものか。

A 助成金については、コミュニティ活動に直接必要な備品が対象であり、建築物とか消耗品および個人の利用に関するもの、または建物と実質一体とみなされるものは対象にならない。

Q 手続きは市が率先されて行ったものか、それとも自治会からの要請があつてのものか。

A 自治会から申請があつて、それを県に応募する形に

なっている。

【衛生費】

新型コロナウイルス感染症対策費

▲3,929万4千円

Q 3回目のワクチン接種は、どのような計画で進めているのか。

A 2回目の接種から8ヶ月経過後を基本として接種をすることになっており、医療従事者の接種が今年1月から始まり、一般の高齢者については2月から接種を進めて行く予定である。

【農林水産業費】

土地改良負担金事業費

1,478万円

Q 県営は場整備事業の事業が減になった理由は。

A 受益地内の未同意者対応に時間を要したため、基本設計の着手はできたが、換地計画原案の作業を令和4年度に延伸したため、事業が減になった。

地籍調査事業費

Q 車両類購入費の減額の53万2千円について、減額となった要因はなにか。

A 装備品の見直しをしたことによる減額である。

治山事業費

1,740万9千円

Q 豪雨による災害復旧の内容は。

A 宅地内法面が崩落した。モルタル吹付法面保護工

法により来年4月から5月には完成できると見込んでいる。

【商工費】

誘客事業費

900万円

Q 京町温泉マラソン大会について、様々な環境変化によって中止になる最終期限はいくつぐらいを想定しているか。

A コロナの対応等、様々なものを考慮しながら、実行委員会等で最終的な判断をするが、年度末から4月初旬あたりでの判断になると考えている。

えびの高原施設管理費

830万3千円

Q 足湯の駅の管理運営に関する収支報告書を担当課は請求されたのか。

A 予算は3名の人件費分ということとで積算したが、満額払うということではなく、今回の予算額を上限として、最終的には1月末に農協から出される決算書の数字を見て補償していく。

Q 県の資料をみると、県道1号線は3月までに開通するとしているが、担当課は確認されているか。

A 県担当者の所見として、令和4年末までの開通はないだろうという話は聞いているが、具体的な回答は得ていない。

Q えびの高原の施設は、農協に1階の部分を委託しているのか。

A 市と農協とは、建物に関する賃貸借契約を結び、1階の物販部分について、物販事業に係る協定を結んでいる。委託事業ではなく賃貸借で貸しており、赤字収支になった場合は、甲乙協

議をする。

【消防費】

災害予防対策事業費

19万2千円

Q 防災士の防災士ネットワークでの活動を推し進める啓発をして頂きたい。

A 試験の広報や市補助金の助成制度を周知する際に、ネットワークのこと等を周知していく。

Q 防災士資格者は、当初予算での20名が32名に増えたということであるが、最初の人を設定した根拠は。

A 市の基本目標として、各自治会に最低1名は居てもらう状況が望ましいという想定をして、これまで年間20名程度の予算を計上してきた。

Q 著作権法について、担当課として教職員の方々に十分周知はしているか。

【教育費】

小学校教育振興費

11万2千円

Q 著作権法について、担当課として教職員の方々に十分周知はしているか。

A データ等について、それが著作権に触れるかどうかは、教職員は確認をしていると思っているが、さらに、周知をしていきたい。

【反対討論】
債務負担行為補正の飯野高等学校生徒寮運営補助金896万5千円について、運営補助金試算資料では、食費として▲281万4千円を計上し、このマイナス分を含めた合計額896万4千453円が寮運営経費となっており、債務負担行為にもこの金額を計上している。281万4千円は学生の食費徴収分であり、収入で計上するのであれば、この部分を除いた約1千万円強の費用が発生して、その後、歳入として281万4千円の計上をしないといけないはずである。したがって、この資料は不完全だ。

予算審査特別委員会

委員長 中山 義彦

一般質問

VLFF設置昭和61年一票差で可決



栗下 政雄
議員



質問 海上自衛隊施設はいつごろ、どうして設置されたのか。

市長 昭和61年1月VLFFの申し入れがあり、同月にえびの市議会臨時会でえびの市誘致を決議頂いた。その後、昭和63年3月に正式に決定した。

質問 設置の覚書を示し、読み上げて欲しい。

基地・防災対策課長 覚書 海上自衛隊超長波送信所設置に伴う措置について えびの市に陸上自衛隊超長波送信所を設置することに伴う振興措置について、えびの市長及びえびの市議会議長並びに福岡防衛施設局長及び防衛施設庁施設調査官は、次のとおり確認し、覚書を締結する。記 一 霧島演習場市有地の早期買上げについて



海上自衛隊超長波送信所

二 周辺整備事業について 三 環境保全について 乙は、送信所の建設に当たり、進入路となる市道の整備について必要な措置を講じ、環境の保全を図り、また、周辺における住民の生活および事業活動に支障を及ぼさないよう措置する。四 防衛関連企業の進出について 乙は、私企業の立地について関与する立場にないが、側面的に協力する。

well-beingなまなげん



遠目塚 文美
議員



質問 飯野高校の全国枠地域留学受入で、市独自の魅力ある寮の必要性が高まっている。生徒・地域共にメリットがあると感じるが、市としての設置計画等の考えは。

市長 県教育委員会とも協議は進めているが、県の補助等の話はない。ランニングコストでの県の負担・市の負担を明確にしていく。

質問 里親制度の啓発について。

市長 行政としての里親制度普及の必要性を感じている。今後、情報共有や現状把握、支援も含めて勉強等していく。

質問 常設トイレ設置の難しい場所等に、移動可能なバイオトイレの活用を検討出来ないか。

観光商工課長 災害時の活用も検討出来る。ランニングコストも

含めて、他自治体の導入事例等を調査していく。

質問 フレイル予防等の進捗は。

介護保険課長 来年度以降、高齢者の保険事業と介護予防を一体的に実施出来るよう、新たな取り組みを検討中である。

質問 ハラスメントへの対応は。

総務課長 ハラスメント要綱を定めている。プライバシー保護に努め、相談窓口を設置している。



企業誘致に人脈戦略を



中山 義彦
議員



で財源の確保を行うとの市長答弁の具体策を示せ。

市長 観光の振興や農業の振興で市民所得を上げて納税の促進を図り、企業誘致で固定資産税が入るなどの財源の確保を進めていく。

質問 観光の課題である市内観光資源をつなぐ物語性の不足について、島内古墳を含めた見直しを。

市長 魅力を発信する物語が市内団体のツールで出てくる。



企業誘致に人脈と戦略を!!

質問 前回の定例会後、産業界の企業誘致に進展はあるか。

市長 現時点は誘致のゴーサインが出た企業はない。

質問 用地売却単価に変更はあるのか。

市長 企業とは1㎡当たり1万2千円で交渉しており、この単価でセールスを続けていく。

質問 企業誘致に関して、県との連携・協調は十分取れているか。

市長 県の担当部署と情報交換をしており、情報共有していく。

質問 防災戸別受信機設置は、今後どのように進めるのか。

基地・防災対策課長 現在行っている調査結果を踏まえて、設備更新に向けた協議を進める。

質問 農業の振興、観光の振興

農業と観光振興に力をそそげ!!



松坂 昭二
議員

側溝は用水路であり、砂利が堆積し困る。溜柵ためますの設置はどうか伺う。

建設課長 堆積しない方法を関係者と協議し対応する。

質問 農地はその地域で守ることを基本に進めておられるが、市の真剣な姿が見えない。今後の農業をどう守り、育てていくのか伺う。

市長 地域の後継者を中心に、大きな組織は難しいが、人・農地プラン等を導入、後継者を応援する。

質問 職員の指導及び研修、異動について伺う。

市長 市民目線で市政運営に当たるよう、管理職を含めて指導している。

総務課長 県市町村課へ、直近5年で2人派遣し、他職員は適宜実施しており、今後も実施する。

質問 京町温泉の振興策はどう考えておられるか伺う。

市長 京町温泉は大切な観光地であり、これまでも色々対策を行ってきたが、今後も経営者や地域の皆さんと協議して進める。

建設課長 地域内3路線の水路については、臭気のある所は土砂除去をし、道路、水路等の破損箇所は維持工事で対応する。

質問 市道西長江浦演習場線の



一般質問

戦争をさせてはならない



西原 政文
議員



質問 えびの市はVLFや霧島演習場を抱え、自衛隊に青年たちを送っている。岸田総理は敵基地攻撃能力を検討と言いつつ、安保法制もあり戦争を前提としている。市長の見解を求めます。

市長 国防は国の専権事項だが、戦争は起こすべきではない。

質問 日本は広島、長崎、ビキニ環礁、福島と4度の放射能被害を受けた国であり、日本は核兵器禁止条約を批准すべきだ。

市長 核兵器については、令和3年11月、1,734の市町村が加盟する平和首長会議で岸田総理に核兵器廃絶について要望をした。核兵器禁止条約は世界中が批准すべきと考える。

質問 以前の議会で市内建設業



者の経営が今後心配されると指摘してきた。今年度の災害復旧の入札で不落がある原因は何か。

建設課長 不落の原因は建設業者の従業員不足が原因と考える。

落札されていないものは平準化で考え、再度入札にかける。

質問 県境の風力発電計画に心配の声がある。どうなっているか。

市民環境課長 事業者に対し市民への説明会を要請した。

学童保育・企業誘致について



阿部 哲己
議員



質問 母親が出産した場合、えびの市の学童保育は出産した翌月までしか利用できない。児童福祉法の「保護者が昼間家庭にいないものに・」との定義は理解するが、法を参酌し、妊娠中（妊娠中又は出産後1年以内の女子）の児童も学童保育を利用できるようにしていただきたい。

市長 診断書等があれば受け入れる柔軟な対応もしている。新たな制度を検討し精査したい。

質問 企業誘致の達成には、企業訪問を増やす必要がある。東京や大阪に駐在員を派遣し、数多くの企業を訪問することを提案する。また、コロナウイルス禍を契機に物資の供給網の再構築が検討されている。中国に進出している企業

及び熊本県に誘致される台湾の半導体メーカー（TSMC）のパートナーであるソニーグループに、しっかりとえびの市の産業団地について情報提供するよう提案する。

市長 えびの市の優れている部分とマッチングしやすい企業に情報提供している。国内回帰や、新たなニーズも期待できる。企業へのセールズを積極的にしていく。



安全な公設避難所設置を!!



吉留 優二
議員



質問 真幸地区・加久藤地区の指定避難所10施設の内、7施設が洪水氾濫地域又は、河川浸水想定区域にある。確認しているか伺う。

市長 加久藤地区では、風水被害時に避難所として指定している全6ヶ所の内、5ヶ所が浸水想定区域内にある。真幸地区は全4施設の内、岡元小学校を除く3ヶ所が浸水想定区域にある。

質問 現在ある加久藤地区・真幸地区の指定避難所は、線状降水帯などの豪雨災害時には避難所として役割を果たすとは思われない。防災マップ上で風水害をうける国道268号線や川内川を横断する避難経路を使わない場所に開設するのが絶対条件になると考える。真幸地区では、王子原球場付近と



豪雨災害に備えて安全な避難所を!!

真幸園付近に近接する施設として、安全な避難経路で避難できる施設が必要と考えるが見解を伺う。
市長 身近な避難所がなくなつたと意見を聞いている。真幸地区では、民間の建物の借用や浸水地域外の自治公民館の借用は出来ないか、担当課に早い段階で新たな避難所が出来るように調査させていく。

職員の超過勤務の実態について



川野 亮
議員



質問 毎日遅くまで市役所の電気がついていますが、職員の残業管理を問う。

総務課長 基本は正規の業務時間内で終えることを基本とする。時期によっては業務量が多くなることや、また緊急性の対応に必要な各所属にて時間外勤務命令簿を發出し、総務課長が合議し認められる。

質問 各課で大きく残業の差があると感じるがどう考えているか。
総務課長 災害対応、新型コロナウイルス感染症対応等で、緊急的な業務増加などで時間外業務が増加した。

質問 特定の課、職員に負担が掛かりすぎないよう、人員配置など見直す必要があると考えるが。

市長 基本的には毎年の人事のなかで新しい事業等に取り掛かる時は、事前に人員配置など対応をしている。一つの課、一人の職員に極端な業務負担の無いよう配慮していく。



令和3年12月14日19時頃の市役所

一般質問

質問 近年、衣類の柔軟剤や制汗剤などの香料が原因で体調不良を起こす人が増えている「香害」



質問 過去5年間の4地区の道路事業費は約1,600万円、4



市民の権利に関する質問をする

現状の把握と支援の継続



小宮 寧子
議員



質問 買い物が困難な高齢者が多く移動販売車を増やす必要がある。移動販売を行う業者が事業を継続していけるよう今後も補助などの支援を行う考えは。

市長 移動スーパー促進事業補助金の次年度の予算化も含め、引き続き支援をしていく。

質問 農家の収入保険制度の保険料の補助について市長の考えは。

市長 生産者からは根本的な制度のかさ上げの要望が強く、九州農政局へ制度の改正をお願いしている。保険料の補助は考えていない。

に関して本市はどう取り組むか。

健康保険課長

日用品等の香りで苦痛を感じる人がいるという事を認識し配慮する事が大切である。市のホームページで周知していく。

市民の権利と公正な市政運営



森 賢治
議員



質問 市長に憲法第22条と第25条の条文を読み上げて頂いた。第25条は国民の権利の条文である。えびの市自治基本条例第4条は基本理念のことである。同条例第7条を読み上げて頂きたい。

市長 第7条とは、市長は市民の負託に応え、この条例の理念に沿って公正かつ誠実な職務の執行に努めなければならない。

質問 4地区の水道事情は、高齢化がすすみ水源地に登攀できない状況にあり、劣悪な環境である。

市長 水道事業に関しても、地元住民の不公平な感情を抱かれないように対応していく。

地区を除くえびの市の道路事業費は5年間で約46億円。えびの市自治基本条例に従い、公正かつ誠実に道路事業を行ない、予算をつけていきたい。

市長 現状を把握し、予算化を検討する。

令和3年12月定例会 議案等審議結果表

1. 議案等

付託委員	番号	件名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	松坂	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原(義)	西原(政)	栗下	
	議第57案号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
	議第58案号	えびの市情報公開・個人情報保護審査会の委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
総務教育	議第59案号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第60案号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第61案号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第62案号	えびの市国際交流センター条例の一部改正について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第63案号	えびの市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第64案号	えびの市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第65案号	えびの市観光施設条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第66案号	えびの市営住宅条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第67案号	えびの市小集落改良住宅条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第68案号	えびの市立病院使用料及び手数料徴収条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算審査特別委員会	議第69案号	令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第11号)について	原案可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第70案号	令和3年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第4号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議第71案号	令和3年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第72案号	令和3年度えびの市水道事業会計予算の補正(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議第73案号	令和3年度えびの市病院事業会計予算の補正(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第74案号	令和3年度えびの市一般会計予算の補正(第12号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2. 陳情

付託委員	番号	件名	審議結果	竹中	川野	森	阿部	松坂	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原(義)	西原(政)	栗下
産業厚生	陳第1情号	市道坂元線と国道221号との交差点における暗渠排水路の改修及び交差点周辺地盤の調査に関する陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	陳第2情号	京町自治会内の市道の道路改良及び側溝整備に関する陳情書	継続審査														

△:議長は採決に加わらない ○:賛成 ●:反対 -:棄権 欠:欠席



議会広報特別委員会
委員長 森 賢治

この度の議会だよりは、130号(令和3年10月定例会)と131号(同年12月定例会)の合併号となりました。議会だよりを楽しみにしていた市民の皆さまには、この場をお借りしてお詫び申し上げます。今後編集作業等が円滑に進むよう努力して参りたい所存です。

編集後記

